

## 令和7年度 第2回議会報告会 まとめ

1. 開催日等 令和7年11月9日（日）18:00～19:51 保健センター2階研修室  
令和7年11月11日（火）18:00～19:44 国府支所2階会議室
2. 出席議員 清田文雄議長、玉虫志保実議員、竹内恵美子議員、鈴木たまよ議員、  
吉川重雄議員、二宮加寿子副議長、橋本秀彦議員、鈴木京子議員、  
石川則男議員、おかみゆき議員、高橋英俊議員、毛利泰輔議員、  
庄子幸太議員、亀倉弘美議員
3. 参加人数 保健センター 会場 9名、オンライン4名  
国府支所 会場 13名 総計 26名

### 4. アンケート結果 別添のとおり

### 5. 報告会における町民からの質問及び意見等

#### 11/9（日）保健センター

#### ○第1部 令和6年度決算と主要事業について

- （意見）下水道事業の内容を良く研究して、しっかりチェックをしてほしい。重要な問題。
- （問）鳥獣対策の対象は農地だけか。
- （答）決算で報告した「農地活用・鳥獣対策事業」は農地だけだが、他に鳥獣害対策は環境課も担当している。
- （問）産業観光の事業はどれくらい効果があったのか。
- （答）ほとんどが海水浴場の監視業務に充てたものである。
- （問）財政状況が良好ということは理解できるが、他の指標や町のいろいろな事業内容も評価して、良好ということか。
- （答）監査意見は問題ないということである。決算の特別委員会でも問題なく認定された。

#### ○第2部 グループ別フリートーク

##### Aグループ

- ・以前から砂利港の健康被害について訴えてきた。有害物質が含まれている土を運び入れているのではないか。町民が安心して暮らせるよう、優先的に対策に取り組んでほしい。
- ・町は砂利港に防護壁を設置したが砂は相変わらず飛散して積もっている。どれくらいの砂が空気中に飛散しているのか。神奈川県は業者から年間3千万円を受け取っていると聞くが、それを使って町にもっと被害防止対策に取り組んでほしい。

- ・砂利があつたら、災害時に緊急物資を運搬する際、港がスムーズに使えなくなる。地震等で道路等のインフラが使えなくなった場合、海からも物資がすぐに搬入できないとなると大きな被害につながる。
- ・玉虫議員に対する懲罰動議について個人を特定していないから問題ないというが、町立小中学校に議員の子どもが3人いると言ったら、容易に想像できる。
- ・玉虫議員に対する懲罰動議について大磯町議会是人権感覚なしと思われる。時代に逆行する話なので、十分に反省して、今後このようなことが起こらないように、議会全体で話し合ってもらいたい。
- ・いじめ問題について、やり取りがファックスだったり、テレビ放映を見ていても、部長の答弁もしどろもどろ。早くに解決してほしい。
- ・いじめ問題について、子どもたちの問題は子どもたちで解決させるようにしたらどうかと思う。先生に押し付けても無理。先生のなり手自体がない。
- ・鷹取山は、大磯の財産とも言える山。個人の持ち物と聞く。遊歩道が荒れているので予算をつけるか、地権者と話をして整備をすれば大磯の資源となる。
- ・海岸のあり方について、町の執行部と議会をよく話し合い、大磯全体を考えた『大磯モデル』を構築してほしい。
- ・陳情や請願は町民の権利。それを門前払いのように机上配布とすることはどうなのか。結果はどうであれ、どんな問題であっても委員会で審議すべき。
- ・大磯町の人口が増加しない原因の一つに、近隣商業地域に人が行き交う様子がないこと。
- ・まちの活性化に向け若い人たちを呼び込むため、近隣商業地域だけでも高さ制限を撤廃し、1階部分をテナントとするマンション建設など、大手デベロッパーを誘致したらどうか。(開発の財源はデベロッパー) マンション建設からの収益(固定資産税等)を、給食の無償化や地域交通など住民サービスに還元すると良い。
- ・高さのあるマンションなどを建てることは防災にもつながる。現在中南信用金庫が津波避難所となっているが、夜間や土日は閉まっているため、サンダーズホームまで避難しなければならない。しかし年配者は駅向こうまではいけない。
- ・下町は道も狭く空き家も多い。どうにかしないと過疎地になってしまう。大手の資本を使って、防災、活性化の工夫をしてほしい。反対意見があるなら、しっかり議論してほしい。
- ・まちをつくる際、道路、下水道、公園を作らなくてはならないが、駅周辺には公園がない。公園は若い人たちとのコミュニケーションの場となる。

## Bグループ

- ・町長は子育て支援を強調するが、若い世代が大磯町に住みたいと思うのはそれだけではない。私たち夫婦の周りには、雰囲気や環境がよくて移住を考えてい

る人たちが何人もいる。子どもがいない働く世代でも、家を建てて住んでいる。

- ・子育て支援だけでなく、働く世代のことも考えてほしい。
- ・大磯はすばらしい。新しい大磯より既にある魅力を生かすことが大切と思う。
- ・町をよくすることを企画するような機会があれば、ぜひ参加したい。

## Cグループ

- ・鳥獣被害が農地にとどまらず、生活環境にも広がっている。特に鹿による車両との衝突や、イノシシ・ハクビシンが民家周辺を荒らす事例など、住民被害が顕著である。
- ・鳥獣被害に対して二宮町では、民家周辺への柵設置支援が進んでいる。
- ・鳥獣被害対策として、単発的な防護や捕獲に依存する対症療法では限界があるため、根本的な原因に踏み込む必要がある。
- ・ジビエの流通や処理方法についても課題があり、鹿は捕獲後1時間以内（豚熱対策では40分以内）に適切な処理を行う必要があることから、現状の設備体制では十分な効果が上がっていない。伊勢原市では、予算を付けて箱わなを複数設置している。
- ・鳥獣の死亡個体の処理を含め専門的な体制が必要であり、被害が生じた際には、住民が確実に役場へ申告し、状況を共有できる仕組みを強化すべきである。
- ・ラボ弁（中学校昼食）は、大磯中学校では一日平均27食、国府中学校では15～16食（多い日は20食）であり、両校合計で約50食と、昨年度より増加している。
- ・少子化対策について、子育て世帯の支援だけでなく、これから子どもを産む世代をどう増やすかという視点が重要である。
- ・結婚手当・出産手当といった経済的支援策を求める声に加え、共働き世帯が増加する中で、学童保育の充実など仕事と子育ての両立支援が必要である。
- ・高校・大学までの無償化の要望など教育費負担の軽減が求められている。
- ・町内の住環境について、戸建て中心で、調整区域が多いことから若年層の定住を促しにくい。また、若年層の所得向上につながる施策が必要である。

## 11/9（火）国府支所

### ○第1部 令和6年度決算と主要事業について

質疑応答なし

### ○第2部 グループ別フリートーク

#### Aグループ

- ・最近では通学時の黄色い帽子を被らない子もいる。安全のためにも登下校時は帽子を被るようようお願いしたい。
- ・富士見地区のバスの問題について、来年路線バスが廃止されると聞く。その後、

富士見地区の交通がどうなるかととても不安。

- ・富士見地区の路線バス廃止について若い人がいる世帯は良いが、高齢者や独居も多く、通院や買い物などに困ると思う。
- ・富士見地区の交通手段を無くさないというが、何も案が出てこないと不安。安心するためにも計画を早く進めてほしい。
- ・富士見地区の夜間のバスが減便になったことでタクシー券の利用ができるが、それを知らない人もいる。しっかり周知してほしい。
- ・新庁舎整備について、スケジュールや工事費などは、その後変更はないか。
- ・物価上昇に伴い、建設のための資材費も値上がりし、それによって工事費が増額することはないか。町の借金が増えることで町民税を増額するのではないか。
- ・建設中の駐車場はどうなるのか。県営駐車場は有料か。
- ・消防庁舎について建て替えの場所は決まったか。
- ・徳洲会病院の送迎バスについて大磯駅、二宮駅から無料のシャトルバスが出ているが、これを地域交通に使えないか。
- ・徳洲会病院は全国的に介護事業も展開していると聞く。大磯でも病院を改修、増築するそうだが、そこに介護事業は入るのか。他の地域で介護サービスを提供しているので、大磯でも是非実現してほしい。ニーズはある。
- ・星槎学園との関係はどうなのか。町との交流はあるのか。
- ・家の近所に星槎学園の寮があるが、地域の活動にも活発に参加してくれている。

## Bグループ

- ・中丸公園の不法投棄やごみの持ち出しに悩んでいる。防犯灯はついているが、公園の街灯がつかない状態で暗いことが要因と思う。早く直してほしい。  
また、公園の周りの道が狭くて危険なので、土地の所有者が代替わりのときに交渉が進んでほしい。
- ・空き家対策の担当者が少ないので、なかなか進まないのではないか。
- ・新庁舎整備で40億円も増えた議論がみえない。
- ・2040年には町民が3,000人減る。金利が心配。無理に無理を重ねる必要はないのでは。
- ・大磯町には大災害の被害は無い。国土地理院の碑の地図には入っていない。
- ・認定こども園の方針変更にはガードはかからないか。町民が参加する方法はないか。
- ・空き家活用にもっと力を注いでほしい。
- ・町外で暮らす子どもたちに、帰っておいでと言える町にしたい。
- ・国府地域は大磯地域に比べ後回しにされていると感じる。

## Cグループ

- ・東町地内での約10cmの浸水や、金目川との接続部における逆流リスクから、逆流防止弁の設置を要望する。

- ・三沢川では、過去に嵩上げを行ったにもかかわらず一度溢水した経緯がある。増水時の水位に合わせた更なる改良が必要ではないか。
- ・川尻公園が水没した際の対応も踏まえ、一本海へ直接抜く新たな排水経路の検討が必要ではないか。
- ・町の広報の在り方について、Facebook の『神奈川県大磯町』という名称のページが公式なのか分かりにくい。
- ・町公式アカウント体系の整理や、住民から見た分かりやすさの向上が必要。
- ・駅前整備に関しては、かつて店舗跡地が更地となり「大磯町」と記されたポールで囲われていることから、町がどのように関与しているのか。
- ・携帯電話基地局設置に関する町独自の条例化の取り組みについて、現在パブリックコメントを実施中であり、住民意見がどこまで反映されるか注視している。
- ・携帯電話基地局設置に関して、電磁波への不安を抱える住民も一定数存在し、住民参加を重視した条例運用が必要である。
- ・富士見地区公共交通について小学生の人数は周辺地域を含め約 30 名であるが、都市交通の路線は令和 8 年度秋に廃止見込みであり、将来的な交通手段の確保が大きな懸念となっている。
- ・また富士見地区は独居高齢者が増える中、今後 5～10 年で地域の移動手段が大幅に失われる可能性がある。
- ・令和 6 年 8 月の土砂崩れによりバス路線が一時通行不能となった事例から、災害時の交通遮断・土砂災害への脆弱性が心配である。
- ・山林や農地が多く、私有地が多い地形的条件も踏まえ、土地開発公社による買い上げと擁壁整備など抜本的対策や、国の「国土強靱化」政策を活用した財源確保が望まれる。

## 6. 反省・総括について（11/14 全協での意見）

### 【時間について】

- ・司会は短くなってよかった。時間配分としては、よかったと思う。
- ・決算についての質問はそんな出なかったが、グループ時間を長くして正解だったと思う。
- ・保健センターの時間について、イベントが重なり、やむなく午後 6 時とした。天候が悪かったせいもあるが、日曜日はできるだけ早い時間の方が参加しやすいと感じた。
- ・今回、両方の会場が午後 6 時からだったが、11 月は明るい昼に実施した方がいいと思った。日の長い 5 月は、夕方でもいいと思うが、日が短くなったら、明るいうちに、足元が心配にならない時間帯がいいと感じた。

### 【説明内容及び資料について】

- ・資料に関して、決算に至る経緯を知りたいという町民意見があった。私たちはできるだけ議会で起きたことを報告することに集中していたが、そのような前後の

経緯をいくつかは説明する必要がある。

- ・国府の方で、決算報告で事業名と金額だけを素早く言われても、よくわからないという意見があった。経緯や背景など説明をした方がいいのではということだと思ふ。何十年も前からの経緯を議員が話されて、「なるほど」という着地だった。なので、金額だけでなく経緯なども含めて、報告のあり方を考えることは必要だと思ふ。
- ・決算・予算の報告は膨大なので、工夫して、普段、議会に遠い方たちにもわかりやすいような資料づくりを心がけたい。
- ・今回は、議会だよりの参照ページを載せたが、当日、スライドを見るのか議会だよりに見るのか、ということもあったので、参加者への配慮がもう少し必要と思ふ。
- ・決算報告が 18 分ほどだったが、2 人での口述は大変だったのではないかな。もう少しみんなで手分けしたほうが良いと思ふ。
- ・議題を上げるものについては、もう少し圧縮するとか、力をかけるところをかけるなど、勘案したほうが良い気がする。
- ・議会報告会をやってきて、町民の要望があり、毎回アップデートしてきている。詳しく説明してもらいたいという方もあまり居なかった中で、今回そういう意見があったということは非常にありがたいと思ふし、今後の改善点にも繋がっていくと思ふ。しかし、全体での意見を言えないのか、という町民がおられたことを踏まえると、その辺りも含めて、次回以降は改善していきたいと思ふ。

#### 【質疑応答について】

- ・今回ズーム参加者が保健センターのみだったが、特に質問等がなかったのは気になった。その後、フリートークへの参加もなかったが、意見を頂戴する工夫など改善していく必要があると思ふ。
- ・ズーム参加者からの質問はなかったが、会場の質問の後にズームとしているが交互にするとか工夫が必要。
- ・事務局で、事前に資料を、チャットに入れたり、ズームの参加者へは丁寧に対応していたが、今年も退室してしまったので、何らかの検討を次回に向けてする必要がある。
- ・ズーム参加者は第二部のときには退出されていた。アンケートが届いていればそれを生かしていければと思ふ。
- ・ズーム参加者を増やしていくことも、状況的には欲しい。会場は会場として、チャットはチャットとして進めるやり方を考える必要がある気がした。
- ・以前、議会報告会の前に、参加者に事前質問を出してもらったことがあった。結構大変だったが、町民にとっては詳しく経緯を知りたいということであれば、そのように答えていくのも 1 つの考えだと思ふ。
- ・フリートーキングの後に A B C で発表したけど、ある議員が「富士見地区のデマンドバスの実証実験をやっている」と間違えて発言した。そのようなときは、気づいたらその場で明確に訂正が必要だったと反省している。

### 【その他】

- ・議会報告会推進委員会の会議では、ペーパーレスの観点から、資料作成、修正ごとにすべて印刷することは、もったいないと思う。
- ・5時集合とのことで5時に行ったが、両会場とも全部でき上がっていた。会場設営は5時スタートとした方がよい。
- ・第二部のグループ分けは、人数のバランスは取れていたのか気になった。
- ・国府支所のCグループ参加者からの指摘で、議員の年齢を知りたいというのがあった。年齢がわかるとその年代の人という理解に繋がるとのことであった。
- ・開始前の口述中に、親子スペースの案内があったが、明らかに親子連れがいない場合は割愛していいと思う。
- ・ズームについて、天候不良のためWi-Fiの接続トラブルが前半あった。端末のスペックの問題もあるが、こういう事態に対応するハード面の整備も考えていく必要がある。
- ・ポスターは今までより一回り小さかったので、貼りやすかった。他の行事の広告と重ならなくてよかったなと感じた。議会事務局と記したマグネットを出してもらったので、議会でこれを行っているというアピールもできたし、取り外しもスムーズにできた。